

地域医療調査研究特別委員会中間報告説明会（神林地域）議事録

当委員会では、これまでの調査研究内容を取りまとめた中間報告を各地域の区長会において説明し、当日、各区長会からの意見聴取を行ないました。

この説明会において聴取した意見を踏まえ、当委員会としての最終的な調査研究報告書の取りまとめを行い、当市における地域医療の抱える課題や問題等の克服に向けての施策を行政に提言することとしています。

以下に、各地域で開催した説明会の議事録（簡易）を記載し、意見聴取の状況についての経過を説明します。

神林地域 [平成24年2月2日(木)] 神林支所旧議場

出席議員：板垣一徳委員長、長谷川孝副委員長、板垣千代子委員、川村敏晴委員、小杉和也委員、川崎健二委員、平山 耕委員、相馬エイ委員、小林重平委員、小池 晃委員（10名/12名）

議事録(簡易)

副委員長 それではこれから質疑をお願いします。何かご意見等ある方はいらっしゃいませんか。

Q 今委員長から報告のあった件で、県立坂町病院のことなのですが、坂町病院では昨年も活性化大会ということで開催されました。その時に大変良いことだなと思って院長の話を聞いてきたのです。ところが、月曜日と金曜日の診療科目が非常に多くて、これは先生が足りなくてこういうことなのだと思いますが、やはり村上市としてあれだけ活性化運動をやっているわけなので、週に2日というのはやっぱりおかしいのではないかと患者は思っていると思います。2診療科目だけが月曜日から金曜日までやっていて、あとの科目が月曜日と金曜日ということで書類を見してきました。そこを何とか全科目月曜日から金曜日までというような方向づけをしてもらわない限り、地域密着型の病院にはならないのではないかなと思うので、その点もう少し力を入れていただきたいと思います。以上です。

委員長 貴重なご意見でありますので、昨日も医師不足の問題やら坂町病院をもっと充実させてほしいという荒川の区長会でのご意見もあったので、これを持ち帰りましていろいろと検討させていただきたいと思います。また、医師不足については今朝ほど新潟日報の1面に記載されていましたが、県知事、あるいは国の方針で医学部の学校をいろいろと増やしていきたいといった新聞の記事であります。そのことを十分踏まえて最終報告を取りまとめるにあたって入れていきたいと考えていますのでよろしくをお願いします。

Q 2点質問させていただきます。会議の経過概要のところ、医師会との協議というか、コンセンサスというか、話し合いをしているところが、22年の3月の25日に行っているというところが載っているわけですが、

これ以外のところが見えないような気がします。医師がこれだけ足りないということになると、（村上総合病院の建設）場所についても医師会との相談が必要なのではないかと思います。もう一つは、村上市を全体で見ると、上の方から、高速体系それから道路の感じから見ると一番この地域（神林地区）が病院を建てる環境としては良いような感じがします。関川村の方からの290号がここを通るような格好になっていますし、岩船港から粟島の方が直接来ると。高速道路が延伸して山北までいくという形になりますし、345号がちょうどここに来ます。そうするとかなりこの場所が良いような気がするのですが、この辺のことを念頭に入れている考えがあるのかどうか質問します。

委員長

医師会との懇談は、1.5次医療の件でしたが、村上病院は2次医療、徳洲会病院は1.5次医療とも言われていますが、普通病院（診療所）は1次医療となるわけですが、1次医療を代表して医師会の会長をお迎えして、1次医療の今後のあり方について重点的にお話しをお聞きしたということです。徳洲会病院の院長先生にもお出でいただき1.5次医療あるいは旧山北町にあるわけですが、その現状と今の課題といったものをお聞きしたということです。村上病院、坂町病院については、2次医療を行っているということでありまして、片や県立病院、片や厚生連病院という個人（民間）病院であるのでそれらを踏まえた懇談をさせていただいたということでもあります。また、場所のことについては特別委員会でどこが良いとか、そういったことを議論する考えは今のところありません。ただし、先ほど冒頭にお話ししたとおり、村上病院に市としてこの厚生連に土地を提供して充実した医療をやりたいというのが市側の考えでありまして、残念ながら場所の選定の際に、いわゆる病院の建設には適さない土地（土壌調査に基づく）であるという判断で、ジャスコ跡地ですが断念をしたということです。ここまで今進んでいますが、その後の土地問題についてはまだ厚生連から、またこの中での話は出てきておりません。今現在はそういった状況であります。

Q

いただいた資料の中の18ページなのですが、徳洲会病院の説明の中で、課題ですが冬季は越冬入所している方も来ているということです。先日テレビを見ていたときに県内のローカルニュースですが、豪雪地の津南が魚沼だったのでしょうか、冬場だけ町の施設でそういう豪雪地の老人の方が入所できる施設を確保している自治体が県内にありました。それが確か月5千円だったかと思います。食費込みですので、3人の方が入所されてコタツに入って友達と編み物をしたり、団らんしたりしているところがテレビに映し出されていました。それで、山北地域、朝日、私は神林なのですが私の集落にも80歳を過ぎた一人暮らし、あるいは二人暮らしの世帯が3世帯ほどあります。当然車も乗れませんので食料品とかの買出しは親戚とか友達の人に車を乗せていただいています。山北地区では八幡とかそういった市の施設がありますし、そういった活用さ

れていない施設をたくさん持っていますので、そういったところを有効に冬場だけでも、お年寄りが集まる、入所できるような施設として活用したらいかがなものでしょうか。以上です。

委員長

貴重なご意見であります。徳洲会病院は平成 8 年に旧山北町で誘致した事業なのですが、今病院 103 床、老健施設 100 床ちょっとでしょうか。非常に村上市のためには満床の状況でしていろいろと助かっていると感じているところです。今お話のあった件について、いわゆる空き施設を利用してそういった施設ということについては、県のベット数の関係などもありますので、持ち帰りましていろいろ検討しまして最終報告の中に入れるべきかどうか検討させていただきたいと思います。非常に良いことだと思います。

副委員長

ほかにありますか。

委員長

それでは、貴重な時間をいただきまして説明をさせていただきましたが、貴重なご意見を頂戴しました。このご意見を持ち帰りまして、特別委員会で議論しながら、また、今日、明日、明後日にはこの合併した新村上市の旧市町村を回りながらまとめて参りたいと考えています。皆さま方の貴重な意見も十分考慮してまとめの中に入れて行きたいと考えていますので今後ともよろしくご指導のほどお願いします。大変今日はありがとうございました。

